

## 議題(13)

### 第2期幸手市水道ビジョン(経営戦略)への御意見について

## 資料3

該当ページ	区分	内容	回答
全体	確認	ビジョンの改正はR8年3月だが、データはR5年度末のものが殆んどであるが、改正時はR6年度末時点のデータに修正するのか？	御指摘のとおり、令和6年度末時点のデータを反映し修正した内容を、令和7年8月12日に開催を予定している第5回審議会において、お示ししたいと考えています。
1	意見	「用水供給事業※」とあるが、用語説明についての記載をした方が良いのでは。例として「※用語説明はP97資料集に記載」	用語説明の記載については、目次ページの下欄に以下の文言を追加して説明します。 *本文中の文言に付記している「※」については、資料編の用語集において用語の説明を記載しております。
1	確認	令和6年4月から水道行政に関して厚生労働省から国土交通省に所管が変わったが、どう記載したら良いのか。	水道行政の所管省庁が移管されたことについては、第1章策定の趣旨、(1)策定の目的において移管した内容の文章を追加いたします。
13	確認	図中 HIVP(硬質塩化ビニル管)とあるが、HIVPは耐衝撃性硬質塩化ビニル管です。本当にHIVPで布設されているのですか？	HIVPで布設されております。「HIVP(硬質塩化ビニル管)」を「HIVP(耐衝撃性硬質塩化ビニル管)」に修正します。

該当ページ	区分	内容	回答
13	意見	耐震化率と耐震適合率がわかりやすく明示されると良いと思います。	<p>P38に耐震化についての記載がありますので、P38に耐震化率・耐震適合率について明示します。  「基幹管路の耐震化率は、約24.3%、耐震適合率は、約26.7%となっております。」</p> <p>耐震管：耐震型継手を有するダクタイル鋳鉄管（SⅡ形、NS形、GX形等）、鋼管及び水道配水用ポリエチレン管（高密度）  耐震適合管：管路が布設された地盤の性状を勘案すれば耐震性があると判断できる管及び継手（RRロング継手を有する耐衝撃性硬質塩化ビニル管等）  耐震化率：総延長に対する耐震管の割合  耐震適合率：総延長に対する耐震適合管の割合</p>
14	意見	水質検査計画は毎年度策定するもの。 今後PFOA/PFOSが基準項目に追加されれば、検査計画も見直しされると思慮。 表3-1は令和6年度の計画であることを明示した方がよい。	御指摘のとおり水質検査計画については、表題に年度を明記して修正いたします。
16	意見	受水費に関し企業局が料金改定を予定しておりと表現していますが、R8.4.1から改正することがR6.12月県議会で承認されましたので、表現を替えた方が良いです。P80では「約21%の改正を実施します。」と謳っています。	御指摘のとおり、P80と整合性を図り、「受水費に関しては、埼玉県企業局が水道用水供給事業の料金を令和8(2026)年度から、現行の61.78円/㎡から74.74円/㎡へと約21%の改定を実施することから、今後増加することが想定されます」との文言に修正したいと考えています。
23	確認	超過料金と書いてありますが、従量料金ではないでしょうか？表中は従量料金となっている。	「超過料金」を「従量料金」に修正いたします。（2箇所）
28	意見	図中の応・給水及び応・復旧体制⇒応急給水及び応急復旧体制	御指摘のとおり、文言を修正いたします。

該当ページ	区分	内容	回答
31	その他	地下水水質について 昨今話題となっているPFASについて、原水についても確認した方が良いのではないのでしょうか？ ニュースになるのは河川や地下水の汚染が問題となっていることから、利用者としては気になるところだと思います。	御指摘のとおりPFASの検査については、原水箇所の検査も追加で実施する方向で検討したいと考えています。PFAS内のPFOS・PFOAの項目につきましては、現在専門家会議により基準の見直しも検討されている段階であり、今後変更が予想されますので検査項目、検査箇所及び検査回数等について基準に適した検査を適宜実施いたします。
33	意見	監視の必要。⇒監視も必要。	「の」を削除いたします。
33	意見	「の」を削除するか、「の」と「も」の間に「継続」等の言葉をはさんだ方が良いと思います。	「の」を削除いたします。
36	意見	「場内耐震化状況」という整理で、場外の取水施設を除外しているのかもしれないが、取水施設(第1水源など)も耐震化が必要。 耐震性はあるのか(そもそも把握しているのか)。	御指摘のとおり、取水施設につきましても耐震化の有無がわかるように図を修正いたします。
47	意見	「新規採用職員の減少等により」との表現が有りますが、採用を減らしているように取られてしまうのではないのでしょうか？募集はしているのに応募してこないが現状です。(埼玉県も然り)	御指摘のとおり、「しかしながら、近年、全国の水道事業体において経験豊富な職員の退職に加え新卒、中途採用への応募が少なく職員採用が十分に行えていない状況にあり、水道の専門技術の継承が十分に行えていないことが問題となっています」との文言に修正したいと考えています。
51	意見	冒頭の「埼玉県企業局では「県ビジョン」が策定済みで、」となっていますが、「埼玉県」ではないのでしょうか？ 埼玉県のビジョンで広域化についてブロック分けしています。	「埼玉県企業局」を「埼玉県」に修正いたします。

該当ページ	区分	内容	回答
51	意見	県企業局の「県営水道ビジョン」でも引用はしていますが、広域化ブロックはあくまで県保健医療部の「県ビジョン」で定めているもの。単に『「県ビジョン」では、』でよいのではないか。	「埼玉県企業局」を「埼玉県」に修正いたします。
51	意見	広域連携会議の主催は埼玉県「保健医療部」ではないか。	埼玉県の後に「保健医療部」を追加いたします。
54	その他	図中、配水・給水の項目で「受水槽の不適切監理」とありますが、「管理」ではないでしょうか？	「監理」を「管理」に修正いたします。
54	意見	給水栓ではなく、給水管では？ 一般的に給水栓=蛇口と思われる。 市の配水管から分岐した管は給水管。	「貯水槽から蛇口までの管理は貯水槽設置者の責任となっています。」に修正します。
55	意見	「実現施策」の文章の中で「検討の実施」「検討の継続」と表現していますが、いつまでを検討して、いつから実施をするのかを期限を明確にした方がよいと思います。	【実現施策】の文章内では、検討結果によって、実施の有無や実施時期に変動が生じるため、具体的な期限を明記しておりませんが、【実現施策】の表では検討時期の設定を令和8年度～令和12年度と一定期間設けて示しております。
63	意見	「実現施策」の文章の中で「検討の実施」「検討の継続」と表現していますが、いつまでを検討して、いつから実施をするのかを期限を明確にした方がよいと思います。	検討結果によって、実施するかどうかの変動することが考えられることから、P63の下から5行目の文章を、検討の後採用可能なものは実施に向けて推進とする形に修正したいと思います。 「今後も水道施設の更新や管路の耐震化及び布設替等で多大な更新需要の発生が見込まれるなかで、将来にわたって安定した水道事業の経営を推進していくためには、費用の削減施策は継続的に検討し、効果を見込むことのできる施策については適宜実施していく必要があります」と修正したいと考えています。
64	意見	「実現施策」の文章の中で「検討の実施」「検討の継続」と表現していますが、いつまでを検討して、いつから実施をするのかを期限を明確にした方がよいと思います。	【実現施策】の文章内では、産業団地整備の時期によって、変動が生じるため、具体的な期限を明記しておりませんが、 【実現施策】の表の中では検討時期の設定を令和8年度～令和9年度と一定期間設けて示しております。

該当ページ	区分	内容	回答
65	意見	「実現施策」の文章の中で「検討の実施」「検討の継続」と表現していますが、いつまでを検討して、いつから実施をするのかを期限を明確にした方がよいと思います。	検討結果によって、実施するかどうかが変動することが考えられることから、P65の上から4行目の文章を、検討の後採用可能なものは実施に向けて推進する形に修正したいと思います。 「経費削減や財政状況の健全化に繋がる可能性がある場合には、持続的な事業の運営を継続していくため、これらの技術の導入を検討し、費用対効果が見込まれる施策については適宜導入を実施していきます」と修正したいと考えています。
66	意見	料金の収納業務の委託状況、収納方法等の記載があっても良いかと思います。	御指摘のとおり、該当箇所に文言を追加いたします。
67	意見	「実現施策」の文章の中で「検討の実施」「検討の継続」と表現していますが、いつまでを検討して、いつから実施をするのかを期限を明確にした方がよいと思います。	検討結果によって、実施するかどうかが変動することが考えられることから、P67の上から13行目の文章のあとに、検討の後採用可能なものは実施に向けて推進する文章を追加したいと思います。「検討の後、費用対効果が見込まれ、実現可能性のある施策について、実施に向け施策を推進していくものとします」と追加したいと考えています。
74	意見	料金の収納業務の委託状況、収納方法等の記載があっても良いかと思います。	御指摘のとおり、該当箇所に文言を追加いたします。
74	確認	施設利用率の低下傾向が気になります。ダウンサイジングの予定等をお聞かせ下さい。	施設のダウンサイジングについては、配水量、給水人口及び給水戸数等の状況から長期的な水需要予測を踏まえて取り組んでいるところです。施設の更新時において、配水ポンプの容量の見直しや稼働率が低い設備の規模を縮小する等、施設の規模の適正化に向けて進めております。
78	その他	表8-1の年度の欄の西暦が誤記ではないかと思っています。	御指摘のとおり、西暦の標記を修正いたします。

該当ページ	区分	内容	回答
80	意見	「受水費」のところで令和8年以降は約21%の増加を見込みましたと書いていますが、水需要の減少、給水人口の減少等を考慮し受水量を減らして受水費を抑えられるかを検討することも必要ではないですか？	埼玉県では令和8年度から「埼玉県水道用水供給事業」の料金が、61.78円/㎡から74.74円/㎡に約21.0%増となる改定が実施されます。幸手市では一定割合の県水を受水していることからこのような記載となっています。
82	その他	「世代間の負担の平準化」と記載されていますがどういう意味ですか？	企業債(地方債)は一般的には借金に相当します。借金をすることで、複数年(30年間等)で元金と利子を返済していくことになります。したがって、当該年度の資金で全ての工事費を賄うことなく、一部の工事費を借入金で賄い、複数年で返済を行い後年度に負担を求め平準化するという意味になります。
85	意見	資産維持費を含めるべき記述を追記しても良いかと思います。	資産維持費を含めるべき記述を追記いたします。
86	その他	表8-6総括原価の表の中で「給水収益」の項目の根拠資料は原案のどこに書いてありますか？	積算の方法はP81に記載しています。年度別の給水収益についてはP92に記載してあります。
86	意見・確認	総括原価(R8～R12)の合計値に資産維持率を掛けてR8年から料金改定率を40%にするのはなぜですか？R8～R11年まで毎年10%上げるとか段階的に改定することは検討しないのですか？	40.0%は((総括原価/給水収益)-1)×100で計算した率になります。経営ビジョンでは「水道料金算定要領」による総括原価の考え方で算定し改定率を表記しています。しかしながら、料金表改定の際には段階的に改定するということの検討も考えられます。

該当ページ	区分	内容	回答
87	意見・確認	総括原価(R8～R12)の合計値に資産維持率を掛けてR8年から料金改定率を40%にするのはなぜですか？R8～R11年まで毎年10%上げるとか段階的に改定することは検討しないのですか？	86ページと同様の為、割愛します。
87	意見・確認	資産維持率とは何ですか？資産維持率を2.0%にしたのはなぜですか？	資産維持率とは、今後の更新・再構築を円滑に推進し、永続的な給水サービスの提供を確保するための率になります。2.0%の理由ですが、水道事業を継続的に安定した運営をするための一例として、計画最終年度の令和17年度末において、収益的収支が損失にならないことを考慮しています。
88	その他	「世代間の負担の平準化」と記載されていますがどういう意味ですか？	82ページと同様のため割愛いたします。
106	その他	水道ビジョン(経営戦略)の内容とは直接関係ないので、事務局員名簿も加えて、別紙資料として分けるべきではないでしょうか？	事務局員名簿を加えることにつきましては、事務局は事務方として携わっていることから記載は控えたいと考えています。 また、別紙資料として分けることにつきましては、特に考えておりません。